

# の入り口

病気やけがで、子どもの具合が急に悪くならどうしますか。子どもの症状が急変した時は、一刻も早い対応が必要です。

市では、医療体制の充実を図っていますので、状況にあった受診の入り口を選択し、大切な子どもの健康を守りましょう。 ☎377-4512 疾病予防課

**夜間に  
具合が悪くなった**

**日曜日・祝日に  
具合が悪くなった**

**重大な病気・  
けがの時**



**急病診療所へ**

**救急車を呼ぶ**

……………日曜日・祝日、夜間に急に具合が悪くなった時の応急処置……………

……子どもの命をつなぐ119番……



市川市医師会の医師が当番制で勤めていて、日曜・祝日、夜間に応急処置を受けることができます。

精密検査、入院、手術などが必要な場合は、他の病院を紹介します。



場 大洲1-18-1

**急病診療所 ☎377-1222** (下記診療時間内)

診療日	診療時間	診療科目
月曜日～金曜日	午後8時～午後11時	内科・小児科
土曜日	午後8時～午後11時	内科・小児科・外科
日曜日・祝日 年末年始 (12月30日～1月3日)	午前10時～午後5時 午後8時～午後11時	内科・小児科・外科



**診療を受ける上での注意点**

- 受診時は、保険証・各種受給券(子ども医療費助成受給券など)を持参しない場合は自費診療になります。
- 応急処置のため、薬は原則1日分の処方となります。
- お盆、年末年始や連休、インフルエンザ流行時は、混雑することがあります。

**日曜日・祝日などに歯が痛くなったら**

**休日急病等歯科診療所 ☎377-8888** (右記診療時間内)

日曜日などに、急に歯や歯肉が痛くなって困っている方に  
応急処置を行っています。場所は、急病診療所と同じ、急病  
診療・ふれあいセンターの建物内にあります。

診療日	診療時間
日曜日・祝日 8月13日～8月15日 年末年始 (12月30日～1月3日)	午前10時～ 午後5時

緊急性がある時に、救急病院に搬送します。

**119番で伝える主な内容**

- 住所、建物名、居住者名や近くに見える目印
- 症状や事故の状況、かかりつけ医の有無
- 通報者の名前

**携帯電話でかける時の注意点**

- 救急隊が到着するまで携帯電話の電源を切らない
- 車の運転時は安全な場所に停車させてから通報
- 高速道路などでは、可能な限り非常電話を利用



**命をつなぐため  
協力してください**

「すぐに診てもらえるから」と呼ぶ救急車も「意識がない」と呼ぶ救急車も限  
りある1台です。

定期的な通院や明らか  
な軽症などの場合に救急車の利用を控えていた  
だくことは、私たちの救命活動への協力につな  
がります。一緒に一人でも多くの命を助けま  
しょう。

重大な病気やけがの時はためらわず救急車を呼  
んでください。

(東消防署 高岡裕明)





どう選ぶ?

# 子どもの受診



「病気かな」と迷った



平日昼間に具合が悪くなった



・あんしんホットダイヤルへ



・近くの医院・診療所へ

.....24時間、年中無休で対応.....

市民の相談に、医師、保健師、看護師などが対応していますので、急な病気などでお困りの際に、ご利用ください。応急処置や、受診できる医療機関を案内します。また、子どもの医療相談に限らずメンタルヘルス、介護など大人の医療などの相談にも対応しています。

## あんしんホットダイヤル(通話無料)

TEL 0120-241-596

非通知では利用できません

「186」を押した後、「0120」で始まる電話番号を押してください。



言語・聴覚障害の方は

FAX 0120-637-119

## こども急病電話相談

毎日午後7時～午後10時まで小児科の医師・看護師からアドバイスを受けられます(通話料がかかります)。

ダイヤル回線の方 043-242-9939

携帯電話・プッシュ回線の方 #8000

.....きめ細やかな診療.....



家の近くにある医院・診療所などで普段から受診していると、医師が子どもの小さな変化も把握できるため、きめ細やかな治療を受けられます。

また、いつでも気軽に健康相談ができ、大きな病院と比べて待ち時間が少なく、必要に応じて専門医を紹介してもらえるとといったメリットがあります。

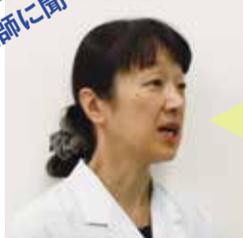
医療マップや、市公式Webでお近くの医院・診療所などを見つけてください



医療マップは以下の場所で配布しています。

☑市民課、☑保健医療課、☑市民課、大柏出張所、南行徳市民センター、市川駅行政サービスセンター、保健センター、南行徳保健センター

近くの  
医師に聞く



## 子どもを理解して診療するために

医師は、普段から診ている子どもであれば、病歴や体質などをよく理解しているため、その子どもにあった治療や、症状を予測した処置ができます。

また、医師の間では「朝一番の熱は絶対に信用しない」という言葉があります。朝の熱は、基本的に一日で一番低いという事です。

まして、子どもの症状は急変しやすいので、前の晩に発熱し、翌朝に熱が下がっていても、受診していただきたいと思えます。

“学校や保育園の終わった後の夕方まで診察を受けられる”、“すぐに行けて、比較的待ち時間も少ない”。そういうことから普段から近くの医院・診療所で受診することをお勧めします。  
(市川市医師会 副会長 大野京子氏)